



鶴岡市立朝陽第二小学校
学校だより No.3
令和5年6月23日
TEL 22-7755
【朝二小教育の心】
「好きにする よさを伸ばす」

学校教育目標 「たくましく思いやりのある子どもの育成」

子どもを育てる体育祭

前日の雨が嘘のように晴れ、4年ぶりの体育祭（フェスティバルではなく）を行うことができました。

その日の朝、正門にいる私のそばをほとんどの子どもが駆け足で過ぎていきました。

「おはようございます！」の声も弾んでいました。途中雨に降られましたが、笑顔と歓声にあふれる素晴らしい大会でした。

雨や風に負けずがんばる子ども達、そして、どうしたら全プログラムを安全に行うことができるかを考え行動して下さった、PTAの皆様、体協の皆様のお力のおかげです。ありがとうございました。



おかげ様で昨年度までの徒競走、親子種目にプラスして、町対抗種目を行うことができました。コロナ禍前のような体育祭ができる幸せを感じました。

雨の中、力を出し切り懸命に走る姿、町対抗種目の「綱引き」で決勝後、互いの健闘をたたえ合う姿に感動したのは私だけではないはずです。子ども達の心にもたくさんの感動がうまれたはずです。

これからも皆様と一緒に、「子どもを育てる体育祭」を大切に繋いでいきたいと思えます。

「親子で楽しむ 庄内論語」

子どもたちは「親子で楽しむ 庄内論語」の冊子を鶴岡市からいただきます。

本校では、論語の素読に挑戦しています。校長室で「親子で楽しむ庄内論語」の55章の暗唱に挑戦することもできます。

「素読」とは、文章の意味をあまり気にせず暗唱できるまで読み込むことですが、脳の活性化にも効果があるそうですし、聴き合ったり学び合ったりすることで共感や絆が生まれ、心が育つとも言われています。また、7日の校長講話でも話しましたが、2500年の歴史を持つ論語は、今はあまり意味が分からなくても、いつか悩みを解決するヒントになったり、勇気が出ない時に背中を押したりしてくれるはずです。

夏休みなどにお家の方と一緒に声を出しながら楽しむのも良い経験になると思います。

ちなみに、最近校長室で子ども達が一番多く挑戦していたのが、

「子曰く（しのたまわく）。巧言令色、鮮し仁。（こうげんれいしよく、すくなしじん）」でした。

1年生も、もう半数以上の子ども達が挑戦しています。長い章を暗唱している子もいて、子どもの力はすばらしいと改めて感じます。はきはきした暗唱を聴いていると、子どもに生き方を教えられている気持ちになります。



二小っ子のがんばり



<鶴岡地区小学生陸上競技大会>

5年1名、6年14名の15名が挑戦！全員が自己新記録を更新しました。（文責：校長）